

平成21年度

交通事故被害者サポート事業報告書

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付

交通安全対策担当

ま え が き

平成21年中の交通事故による死者数は4,914人であり、昭和27年以来57年振りに5千人を下回りました。また、発生件数及び負傷者数も減少しています。しかしながら、約90万人の国民が交通事故により死傷するという厳しい状況が依然として続いております。

わが国の交通安全対策の長期的な施策の大綱である「交通安全基本計画」においては、8つの柱のひとつとして「被害者支援の推進」が挙げられ、自助グループの活動等に対する支援を始めとした交通事故被害者の支援の充実強化を図ることとしております。

新たな交通事故被害者が日々増加し続ける中、交通事故は、いつ我が身に振りかかってもおかしくない非常に身近な出来事といえます。そして、ひとたび交通事故に遭遇すれば、被害者や遺族の方々は深い悲しみや辛い体験を長い間抱えながら生活することとなり、その回復には多方面からのきめ細かな支援が必要となります。昨今、被害者支援について国民の関心や意識は高まり、被害者支援の施策について充実を求める声が多くなってきているところではありますが、未だ被害者支援の枠組みが十分に整備されているとはいえない状況にあります。

本事業は、国民が互いに支え合う、安全で安心できる交通社会を形成することを目的として実施してまいりました。

一人でも多くの交通事故被害者が回復に向け再び歩み出すことができるような土壌が醸成できれば幸いです。

最後に、本事業に御尽力いただいた委員の先生方や関係各位に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

平成22年3月

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付
交通安全対策担当参事官 加藤久喜

平成 2 1 年度

交通事故被害者サポート事業検討会 委員名簿

現 職 等	氏 名
常磐大学大学院被害者学研究科教授	座 長 富 田 信 穂
飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める 遺族・関係者全国連絡協議会 幹事	井 上 郁 美
特定非営利活動法人 全国被害者支援ネットワーク副理事長	大久保 恵美子
国立精神・神経センター精神保健研究所 成人精神保健部 犯罪被害者等支援研究室長	中 島 聡 美
内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付 交通安全対策担当参事官	加 藤 久 喜

執筆者及び編者

本報告書の執筆者及び編者は、以下のとおりである。

【交通事故被害者サポート事業検討会委員】

富田 信穂	常磐大学大学院被害者学研究科教授
井上 郁美	飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会 幹事
大久保 恵美子	特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワーク副理事長
中島 聡美	国立精神・神経センター精神保健研究所 成人精神保健部 犯罪被害者等支援研究室長
加藤 久喜	内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付 交通安全対策担当参事官

【特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワーク】

増茂 成史	事務局長
野田 美和	研修担当

【被害者支援センター】

社団法人	秋田被害者支援センター
社団法人	いばらき被害者支援センター
社団法人	被害者サポートセンターあいち
特定非営利活動法人	長崎被害者支援センター
特定非営利活動法人	石川被害者サポートセンター
特定非営利活動法人	大阪被害者支援アドボカシーセンター

目 次

第1章 平成21年度事業の概要	1
. 目的	1
. 事業の概要	2
第2章 自助グループ活動実態把握調査結果の検討及び今後の方向性 について	4
. 目的	4
. 事業の概要	4
. 調査の分析の方向性	4
1 . 分析の考え方	4
2 . 分析結果の整理の方向性	4
. 調査の分析結果の概要	5
1 . 被害者等が自助グループに参加することのメリット等に関する事	5
2 . 自助グループへの参加者の募集・自助グループの周知等に関する事	9
3 . 自助グループの開催日時に関する事	13
4 . 自助グループの開催場所に関する事	14
5 . 自助グループの運営方法等に関する事	15
6 . 事務局、ファシリテーター等の支援者に関する事	18
7 . 自助グループの活性化に関する事	20
8 . 自助グループの規模等に関する事	21
9 . 地域性に関する事	23
10 . 費用負担に関する事	24
. 問題点と改善策	25
第3章 自助グループ連絡会議	26
. 自助グループ連絡会議	26
1 . 第1日目(平成21年10月26日(月))	26
2 . 第2日目(平成21年10月27日(火))	27
. 各被害者支援センターからの報告	33
1 . 特定非営利活動法人長崎被害者支援センター	33
2 . 社団法人被害者サポートセンターあいち	38
3 . 社団法人秋田被害者支援センター	40
4 . 社団法人いばらき被害者支援センター	42
5 . 特定非営利活動法人石川被害者サポートセンター	43
. 本章のまとめ	49

第4章	リーフレットの作成・配布	50
	．目的	50
	．事業の概要	50
	．成果物	50
	．配布先	50
第5章	各種相談窓口等意見交換会	52
	．目的	52
	．概要	52
	．体制	56
	．意見交換会	57
	1．福井における意見交換会	57
	2．岩手における意見交換会	62
	3．広島における意見交換会	66
	4．大分における意見交換会	69
	5．栃木における意見交換会	73
	6．和歌山における意見交換会	77
	．問題点と改善策	81
	．本章のまとめ	82
第6章	交通事故被害者の子弟に対する支援の実態に関する調査	83
	．目的	83
	．事業の概要	83
	．調査方法	83
	1．調査全体に関わること	83
	2．被験者の選定に関すること	83
	3．面接場所及び面接日に関すること	84
	4．面接実施者及び調査の実施に関すること	84
	5．結果の取りまとめ	84
	6．倫理的な配慮について	84
	．対象者の属性	85
	．調査結果	88
	1．子弟に関する調査結果	88
	2．保護者に関する調査結果	95
	．本章のまとめ	104
	1．子弟に関する調査結果について	104
	2．保護者に関する調査結果について	105
第7章	総括	106

資料編

資料 1	平成 20 年度交通事故被害者サポート事業に係る自助グループ 実態把握調査結果自由記述に係るご意見等の整理	1
資料 2	リーフレット	4 1
資料 3	交通事故被害者の子弟に対する支援の実態に関する調査要領	4 3
資料 4	別添 交通事故被害者の子弟に対する支援の実態に関する 調査の目的等	4 6
資料 5	別紙 1 面接調査の説明とご協力をお願い	4 8
資料 6	別紙 2 同意文書	5 1
資料 7	別紙 3 同意撤回書	5 3
資料 8	別紙 4 聞き取り調査 事前記入表	5 4
資料 9	別紙 5 交通事故被害者の子弟に対する支援の実態に関する 調査事項（子弟用）	5 5
資料 10	別紙 6 交通事故被害者の子弟に対する支援の実態に関する 調査事項（保護者用）	5 8